

日本福祉大学 山形最上オフィス通信

第28号
2019年8月8日発行

Index

- 1) 学位記授与式／物好き者の集い
- 2) 新入生のつどい／入学式
- 3) 北海道人会×東北県人会
同窓会／Uターン就職相談会
- 4) 日福トピックス
・ 国家資格取得実績
・ 社会福祉セミナーのご案内

1

3月16日（土）、美浜キャンパス体育館で2018年度の学位記授与式が挙行されました。今年度は通学課程1,133名、通信教育部1,571名、大学院74名の、計2,778名が日本福祉大学を卒業しました。東北出身者では、岩手県1名・宮城県1名・秋田県2名・山形県1名の計5名が通学課程を修了し、大学生活で学んだ知識や経験を活かすため、それぞれの道へ向け新たな一歩を歩みはじめました。

児玉学長は「学生生活を通じて多くの人とのつながりを持ち、支えてもらう中で得られた学びが、これからの人生の大きな糧になる。感謝の気持ちを忘れることなく、これからは皆さんがそれぞれの地域において人とつながり、支える役割を担ってほしい。これからのふくし社会に貢献されることを期待している。」と、卒業生へ式辞を述べられました。

日福は卒業後も「同窓会」で交流し親睦を深めています。各県の地域同窓会、学部・同期・クラス・ゼミやサークルなど様々な同窓会がありますので、ぜひ参加してください。全国各地で活躍する先輩方が、同窓会で待っています。

2018年度 学位記授与式



会員交流の場 「物好き者の集い」



3月23日（土）、矢巾町活動交流センター「やはばーく」にて、岩手県地域同窓会主催による「物好き者の集い」が開催されました。当初は「卒業を祝う会」もあわせて行う予定でしたが、今春卒業生の申し込みがなかったため、会員交流会としてゆっくり懇談を行いました。「岩手から遠く離れた愛知まで進学するなんて、私たちって物好きだよな」ということから名付けた「物好き者の集い」の由来を会長が説明すると、周囲から「そうそう！」と笑いが起こりました。

児童文学作家のちばるりこさんからは、本学客員教授の角野栄子先生と対談した際のお話をお聞きし、第26回小川未明文学賞大賞を受賞した「スケッチブッカー 供養絵をめぐる物語」にサインをいただきました。

参加された通信教育部の在学学生は、社会福祉士の資格を持つ同窓生の方々にアドバイスをもらい、「やはり課題や実習が大変。通信教育は孤独を感じることもあるが、こういった集まりがあると先輩方に色々教えていただけて嬉しい。」と話され、同窓生からは「もう孤独じゃないね。来年、みんなで卒業をお祝いしましょう。」とあたたかい声をかけられました。

ようこそ
日福へ！

新入生のつどい



入学式直前の3月29日（金）に、地域サテライト・ブロックセンター主催で、地方出身の新入生を対象にした「新入生のつどい」を美浜キャンパスコミュニティセンターにて開催しました。これは地方から本学に進学した新入生が、早く友だちを作り実りある大学生生活のスタートが切れるようにと企画したものです。

当日、北は岩手県・南は沖縄県と全国各地から新入生68名が集まりました。会場に勢ぞろいした各地域の名菓を受け取り、まずは学部専修毎にわかれ着席。めくったお題に沿っての自己紹介からスタートしたものの、お互いに少し緊張している様子。全体でゲームを行ったあと、出身地域別交流会を実施しました。同郷仲間ということもあって、地域別ならではの話で盛り上がりました。アパート周辺の情報交換や一緒にキャンパスめぐり等を行い、盛会のうちに終了しました。



初対面で最初はぎこちなかった新入生たちも、最後にはLINE交換するほど意気投合している姿があちこちで見受けられました。アンケートにも「友だちが出来るか不安だったけど、色んな人と仲良くなれた」「同じ学部や県の人と話すことが出来て本当に楽しかった」と、参加して良かった旨の感想をたくさんいただきました。この時期に友人や先輩がすることで、地方出身の新入生がこれからの学生生活に積極的に取り組んでくれることを期待します。

4月1日（月）、入学式が行われました。午前の部は美浜キャンパス体育館にて、大学院・社会福祉学部・子ども発達学部・スポーツ科学部・健康科学部を対象に、午後の部は東海市芸術劇場にて経済学部・国際福祉開発学部・看護学部を対象に、会場を分け挙行了しました。

2019年度は学部生1,576名、編転入学生18名、大学院生98名の計1,692名が入学し、そのうち東北地域からは、青森県1名・岩手県3名・秋田県1名・福島県2名の計7名が日福生としてスタートを切りました。

児玉学長は、式辞の中で「各学部での学びと、学生生活におけるさまざまな自主的活動への参加を通して、多くの人と関わり経験を積み重ねることで、抱かれている夢や希望を実現されることを願います。」と新入生へエールを送りました。

午前の部では、新入生を代表して岩手県出身の遠山桜さんが、「私は将来、子どもたちが安心して自分らしい日々を送るために、居場所づくりに携わりたいと考えている。日本福祉大学には地域に根ざしたフィールドワークがあり、座学だけでは味わえない経験を得ることが出来る。このような環境を生かし、社会へ還元できる力を身に着けるべく研鑽に励んでいきたい。」と誓いの言葉を述べました。

2019年度入学式



4月2日（火）、桜が開花しだした美浜キャンパスにて、全国各地の県人会顔合わせ会を行いました。

東北県人会は昨年に引き続き、北海道人会と合同で開催しました。当日は新入生6名を、先輩2名と担当職員でお出迎え。

北海道・東北・愛知のご当地名菓を食べながら、サイコロをふって出た目のお題を交えて自己紹介をしました。郷土愛が強く、早くも「もう北海道が恋しい〜！」と語る北海道チームに、新しい環境で始まる大学生活への期待でワクワクしている東北チームが対照的でした。先輩からは一人暮らしや学生生活についてこれまでの経験を踏まえてアドバイスを、新入生からは高校時代の部活等、自身について詳しく語ってもらいました。

数年前の入学時に緊張した面持ちで参加していた在学生在が、今ではすっかり頼れる先輩として新入生をリードし、話を盛り上げてくれる姿に成長を感じ、大変嬉しく思います。学部・学年は違えどみんな同じ東北出身同士、“みんな仲良くすっぺ！”



同窓会代表者会議 / 東北地域Uターン就職相談会

同窓会代表者会議は例年名古屋市内のホテルにて行われていますが、今年は東海キャンパスを会場に開催されました。開設5年目のキャンパスに初めて入る方が多く、自身が学生時代に通っていた学び舎を思い浮かべながら、感慨深く感想を述べられていました。各県で会長・オブザーバー等を担当されている代表者が約140名、そのうち東北地域からは9名の役員が出席しました。

日程は6月8日（土）から9日（日）までの2日間にわたり行われました。1日目は事業報告及び決算の承認、本年度の事業計画と予算案及び任期満了に伴う役員の選任を議題とし、活発な意見や質問が交わされました。後半の活動状況報告会の場面では、山形県地域同窓会の新聞会長と鈴木副会長が県の活動報告や今年11月16日に開催される大学セミナーのPRを行いました。

会議後の懇親会は、大学の食堂にて盛大に開かれ、全国各地の同窓生同士が大いに親睦を深めました。



2日目は各地域ブロックごとに分かれて代表者・事務局長会議を行い、昨年度の活動と今年度

の予定を報告したほか、秋に予定している東北ブロック代表者会議を大学セミナーに合わせ山形市で開催すること等が話し合われました。

代表者会議が終了した6月9日（日）の午後、東北地域Uターン就職相談会を行いました。昨年は開催には至りませんでしたが、今年は山形県出身の4年生が相談に訪れました。参加した学生に、希望する職種やエリ

ア等を一通りヒアリングした後、キャリアアドバイザをされている山形県の鈴木副会長を



はじめ、東北地域の役員の皆さんから、候補となる法人や仕事内容、就活を進めていく上でのアポイントメントの方法や時期について具体的なアドバイスがなされました。

学生からは「どのように就活を進めていけばよいのか相談し“まずはこういった施設で働きたいのかをピックアップし、積極的にアポをとって見学してみるとよい“とのアドバイスや、職員募集案内の資料を参考にいただいた。施設の理念や活動の内容等をしっかり調べ、就活を進めていきたいと思う。今回の相談会のアドバイスを励みに、希望するところから内定をいただけるよう頑張っていきます。」と、参加した感想と今後の決意を語ってくれました。

今回から、参加学生の会場までの交通費を担当する地域同窓会が支援する新たな試みを始めました。今後もより多くの学生がこの相談会を利用して就活に活かせるよう、同窓会とオフィスで協力し合い在在学生をサポートしていきます。

国家資格 取得実績

第31回社会福祉士国家試験
現役合格者数

【通学課程／通信課程】

全国大学
第1位第21回精神保健福祉士国家試験
現役合格者数・合格率

【通信課程】

全国大学
第1位第54回理学療法士国家試験
現役合格率93.0%
全国合格率
85.8%第54回作業療法士国家試験
現役合格率100%
全国合格率
71.3%第31回介護福祉士国家試験
現役合格率100%
全国合格率
73.7%第108回看護師国家試験
現役合格率97.0%
全国合格率
89.3%第105回看護師国家試験
現役合格率85.7%
全国合格率
81.8%

第31回日本福祉大学社会福祉セミナーin山形のご案内

毎年度、全国で開催している“社会福祉セミナー”。令和になって初めてとなる今回、山形県にて開催することになりました。過疎地域や単身世帯を含む「地域共生社会」のあり方、地域づくりに関する基調講演に、地元で活躍する方々によるシンポジウムを予定しています。全ての人々がこれからも山形で安心して暮らし続けていくために、ともに学び理解を深めましょう。

日時: 2019年11月16日(土) 13:00～16:45

場所: 山形国際ホテル3階 富士西の間

定員: 130名 参加費: 無料

対象: 本学同窓生、一般の方



「①氏名(ふりがな) ②勤務先 ③連絡先(電話/FAX) ④特記事項(必要な配慮) ⑤属性(同窓生/一般/その他) ⑥懇親会(参加/不参加 ※同窓生のみ)」を記入の上、FAXまたは大学後援会HPよりお申し込みください。10月31日(木) 必着
※定員数を超えた場合、お断りの連絡をさせていただきます。

第31回 日本福祉大学社会福祉セミナー in 山形

定員 130名 参加費 無料 対象 本学同窓生 一般の方

**新時代における
地域共生社会への取り組み**

～やまがた愛・ずっと山形さいでえ～

開催 2019(令和元)年 11月16日 土
13:00～16:45(受付 12:30～13:00)
会場 山形国際ホテル3階 富士西の間
〒990-0029 山形県山形市豊原町立丁194番2号 TEL 023-623-1313

プログラム
13:00～13:10 開会

13:10～14:10 **地域共生社会の実現にむけて**
基調講演 講師: 原田 正樹氏 (日本福祉大学 副学長)

14:20～15:30 **シンポジウム**
コーディネーター: 小松 理佐子氏 (日本福祉大学 社会福祉学部教授)

15:40～16:40 **ひとり暮らしの増加と今後
一どのような社会を築いていくか**
基調講演 講師: 藤森 克彦氏 (日本福祉大学 福祉経営学部教授)

16:40～16:45 閉会

17:30～19:30 **懇親会 (同窓会関係者対象)**
会場: 6階 スプレンドーの間
会費: 4,000円

日本福祉大学 山形最上オフィス

〒999-6101

山形県最上郡最上町大字向町674 最上町立中央公民館内

電話: 0233-43-9232 メール: yamagatabc@ml.n-fukushi.ac.jp

Open: 火曜～土曜 10:00～18:00 Close: 日曜・月曜・祝日

